

企業の資金調達コスト軽減

田中 修

はじめに

李克強総理は7月23日、国務院常務会議を開催し、企業の資金調達コストが高い問題を緩和するため、10項目の措置を手配した。これも景気微刺激策の一環である。本稿では、その概要を紹介する（新華網北京電2014年7月23日）。

企業は経済活動の基本細胞である。現在、わが国のマネー・貸出総量は小さくないが、企業とりわけ小型・零細企業の資金調達が容易でなく、コストがかなり高いという構造的な問題が依然際立っており、企業の負担を重くしているのみならず、マクロ・コントロール政策に影響を与え、金融リスクの隠れた弊害をももたらしている。

この問題を有効に緩和すれば、企業に空気・血液を送り当面の成長安定を促進できるだけでなく、金融と実体経済の良性の相互作用を形成することができ、経済の基礎を強固にし長期にわたって安定させることになる。

方向を定めたコントロールの要求に基づき、多くの措置を同時に実施し、抹消的な問題と根本問題を共に解決しなければならない。構造の改革・調整を推進し、金融体制改革を深化させ、金融サービス・監督管理を強化して、実体経済の強化・雇用拡大・民生改善のために金融支援を提供しなければならない。

（1） 穏健な金融政策を引き続き堅持しなければならない

貸出総量の合理的な伸びを維持し、構造調整に力を入れ、貸出先を最適化しなければならない。農業、小型・零細企業への支援と手形再割引を強化し、小型・零細企業、「三農」への金融サービス能力と、サービス業、省エネ・環境保護等の重点分野及び重大民生プロジェクトへの支援能力を高める。

（2） 金融機関の資金集めのコストが不合理に上昇することを抑制しなければならない

形を変えた高利子による預金集めに歯止めをかけ、良好な金融市場秩序を擁護しなければならない。

（3） 企業の資金調達のチェーンを短縮しなければならない

不必要な段階を整理し、重層的に金利を加重する行為を取り締まらなければならない。理財商品の資金運用は、原則として実体経済と直接リンクさせなければならない。

（4） 不合理な手数料徴収を整理整頓しなければならない

直接貸出とリンクし、実質的なサービス内容を伴わない手数料徴収については、一律に取り消さなければならない。「貸出を預金に転換させる」「預金と貸出をリンクさせる」等の行為を厳禁する。

(5) 小型・零細企業に対する商業銀行の貸出の管理を最適化しなければならない

引き続き貸出の事前審査を採用し、循環貸出等の方式を設けて、審査・貸出の効率を高めなければならない。小型・零細企業に対して差別化した監督管理の要求を実行する。

(6) 小型・零細企業と「三農」を相手とする特色ある中小金融機関を積極かつ穏当に発展させなければならない

条件を備えた民間資本が法に基づき中小タイプの銀行等の金融機関を発起・設立することを早急に推進し、市場競争を促進し、金融の供給を増やさなければならない。

(7) 直接金融の発展に力を入れなければならない

様々なレベルの資本市場を発展させ、中小・零細企業が中小企業株譲渡システムに委託して資金調達を展開することを支援し、中小企業の負債性資金調達の手段・規模を拡大しなければならない。

(8) 商業銀行の考課・評価の指標体系を整備しなければならない

商業銀行が単純に利潤を追求し、資産規模を競って拡大する行為を正すよう誘導しなければならない。

(9) 小型・零細企業等への貸出サービスを支援する保険商品の発展に力を入れ、「保険・貸出」の協力を展開しなければならない

政府が支援する保証機関を積極的に発展させ、小型・零細企業への保証業務の規模を拡大する。

(10) 金利の市場化改革を秩序立てて推進しなければならない

金融機関が金利を自分で決定する自律的なメカニズムの作用を十分発揮させ、財務のハードな制約を増強し、自主的な金利決定能力を高めなければならない。わが国のマクロ経済・金融情勢を総合的に考慮し、市場の金利形成・伝達メカニズムを整備する。

各関係部門は、実施手配の弁法を早急に制定し、定期的に督促・検査し、第三者による評価を導入して、政策ができるだけ速く実施され実効が現れることを確保しなければならない。

(7月24日記)